

## 平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月6日

上場会社名 エスペック株式会社

上場取引所 東大

コード番号 6859 URL <http://www.espec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 進 信義

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 廣 信義

四半期報告書提出予定日 平成21年8月7日

TEL 06-6358-4741

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	4,279	△45.7	△809	—	△764	—	△519	—
21年3月期第1四半期	7,885	—	△324	—	△116	—	△264	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△21.89	—
21年3月期第1四半期	△11.16	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	36,340	28,938	79.2	1,212.27
21年3月期	38,719	29,212	75.0	1,224.12

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 28,768百万円 21年3月期 29,050百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	9.00	—	5.00	14.00
22年3月期	—				
22年3月期 (予想)		5.00	—	5.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	12,000	△34.8	△700	—	△600	—	△700	—	△29.50
通期	28,000	△19.8	200	△60.8	400	△47.8	200	—	8.43

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他(2)をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 23,781,394株 21年3月期 23,781,394株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 49,986株 21年3月期 49,746株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 23,731,445株 21年3月期第1四半期 23,712,771株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間のわが国経済は、一部に景気の底打ちが見られるものの設備・雇用の過剰感は払拭されず、各企業の設備投資計画が大幅に減少するなど、引き続き厳しい経営環境となりました。こうしたなか、当社は経営合理化施策を推進するとともに売上確保に尽力してまいりましたが、当社の主要顧客である自動車・エレクトロニクスメーカーならびにLCD・半導体メーカーの設備投資の抑制などにより、売上高につきましては、前年同四半期比で減少し、利益面につきましては、遺憾ながら営業損失および四半期純損失となりました。

	前第1四半期連結累計期間 (第56期) (百万円)	当第1四半期連結累計期間 (第57期) (百万円)	増減率 (%)
受注高	12,176	4,360	△64.2
売上高	7,885	4,279	△45.7
営業損失 (△)	△324	△809	—
経常損失 (△)	△116	△764	—
四半期純損失 (△)	△264	△519	—

#### <環境試験事業>

主力製品の省エネモデルを新たに市場投入し買い替え需要の喚起に努めるとともに、新エネルギーなどの好調市場を含めカスタム対応を強化して売上の確保に取組んでまいりました。しかしながら、国内外ともに自動車やエレクトロニクスメーカーを中心とした企業の設備投資の抑制や経費削減により、環境試験器の販売および受託試験・レンタルの需要が激減し、売上高につきましては、前年同四半期比で大きく減少いたしました。利益面につきましては、売上低下の影響により営業損失となりました。

	前第1四半期連結累計期間 (第56期) (百万円)	当第1四半期連結累計期間 (第57期) (百万円)	増減率 (%)
受注高	7,345	3,555	△51.6
売上高	5,905	3,478	△41.1
営業損失 (△)	△207	△621	—

#### <電子デバイス装置事業>

FPD装置事業につきましては、LCD市場は回復しつつありますが、依然としてLCDメーカーの設備投資は低調に推移しており、売上高につきましては前年同四半期比で減収となりました。利益面につきましては、本事業の経営資源を環境試験事業のカスタム対応部門へシフトするなど固定費削減に取組みましたものの、売上低下の影響により営業損失となりました。

半導体装置事業につきましては、半導体メーカーの設備投資抑制の影響をうけ、前年同四半期に比べて大幅な減収となり、営業損失となりました。

こうした結果、電子デバイス装置事業全体では、売上高につきましては前年同四半期比で大幅に減少し、利益面につきましては営業損失となりました。

	前第1四半期連結累計期間 (第56期) (百万円)	当第1四半期連結累計期間 (第57期) (百万円)	増減率 (%)
受注高	4,635	729	△84.3
売上高	1,804	537	△70.2
営業損失 (△)	△125	△208	—

#### <その他事業>

その他事業では、子会社のエスペックミック株式会社が森づくりや水辺づくり、都市緑化などの環境エンジニアリングを推進しております。当事業につきましては、植物生産システムの売上が増加したことなどにより前年同四半期比で増収増益となりました。

	前第1四半期連結累計期間 (第56期) (百万円)	当第1四半期連結累計期間 (第57期) (百万円)	増減率 (%)
受注高	222	141	△36.5
売上高	187	278	48.6
営業利益	10	19	93.0

※ 当社グループにおいては、お客さまの予算執行の関係により、契約上の納期が第2および第4四半期連結会計期間に集中する傾向が強いため、四半期別の売上高をベースとする当社グループの業績には著しい季節的変動があります。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は36,340百万円で、前連結会計年度末と比べ2,379百万円の減少となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金の減少2,181百万円などによるものであります。また、負債は7,401百万円で前連結会計年度末と比べ2,105百万円の減少となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の減少1,440百万円、その他流動負債の減少521百万円などによるものであります。純資産は28,938百万円で前連結会計年度末と比べ274百万円の減少となり、その主な要因は利益剰余金の減少638百万円、その他有価証券評価差額金の増加184百万円、為替換算調整勘定の増加180百万円などによるものであります。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の連結業績予想および配当予想につきましては、平成21年5月15日に発表いたしました「平成21年3月期決算短信」をご参照ください。

## 4. その他

### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### ①簡便な会計処理

該当事項はありません。

#### ②四半期連結財務諸表作成にあたり適用した特有の会計処理

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,566	5,838
受取手形及び売掛金	10,421	12,603
有価証券	1,600	1,500
商品及び製品	328	279
仕掛品	1,971	1,915
原材料及び貯蔵品	1,123	1,090
その他	1,882	2,195
貸倒引当金	△25	△28
流動資産合計	22,868	25,395
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,739	3,774
土地	4,437	4,429
その他（純額）	835	798
有形固定資産合計	9,011	9,003
無形固定資産	613	681
投資その他の資産	3,845	3,639
固定資産合計	13,471	13,324
資産合計	36,340	38,719
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,040	4,480
短期借入金	383	550
未払法人税等	37	76
賞与引当金	395	262
役員賞与引当金	—	3
製品保証引当金	142	194
その他	1,456	1,977
流動負債合計	5,455	7,545
固定負債		
長期借入金	221	207
退職給付引当金	78	80
役員退職慰労引当金	46	59
負ののれん	49	58
その他	1,549	1,556
固定負債合計	1,945	1,961
負債合計	7,401	9,506

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,895	6,895
資本剰余金	7,172	7,172
利益剰余金	16,056	16,694
自己株式	△53	△53
株主資本合計	30,072	30,710
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	169	△15
繰延ヘッジ損益	△8	—
土地再評価差額金	△824	△824
為替換算調整勘定	△640	△820
評価・換算差額等合計	△1,303	△1,660
少数株主持分	169	162
純資産合計	28,938	29,212
負債純資産合計	36,340	38,719

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	7,885	4,279
売上原価	5,642	3,275
売上総利益	2,243	1,003
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	641	521
賞与引当金繰入額	101	43
製品保証引当金繰入額	41	18
役員賞与引当金繰入額	6	—
その他	1,776	1,230
販売費及び一般管理費合計	2,568	1,812
営業損失(△)	△324	△809
営業外収益		
受取利息	10	11
受取配当金	37	36
負ののれん償却額	8	8
持分法による投資利益	45	0
為替差益	99	—
その他	23	29
営業外収益合計	223	85
営業外費用		
支払利息	6	6
為替差損	—	29
その他	8	3
営業外費用合計	14	40
経常損失(△)	△116	△764
特別利益		
貸倒引当金戻入額	5	1
その他	0	0
特別利益合計	5	1
特別損失		
固定資産除却損	35	0
貸倒引当金繰入額	—	1
その他	—	0
特別損失合計	35	2
税金等調整前四半期純損失(△)	△145	△764
法人税、住民税及び事業税	114	△239
少数株主利益又は少数株主損失(△)	4	△4
四半期純損失(△)	△264	△519

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	環境試験事業 (百万円)	電子デバイス 装置事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	5,897	1,804	184	7,885	—	7,885
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	8	0	3	12	(12)	—
計	5,905	1,804	187	7,898	(12)	7,885
営業利益又は 営業損失 (△)	△207	△125	10	△322	△1	△324

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

	環境試験事業 (百万円)	電子デバイス 装置事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	3,472	530	276	4,279	—	4,279
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	6	7	2	15	(15)	—
計	3,478	537	278	4,294	(15)	4,279
営業利益又は 営業損失 (△)	△621	△208	19	△810	0	△809

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。